

注 用紙の大きさは、A列4番とすること。

第2号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）
事業計画（変更計画）書

平成26年4月15日

一部修正 平成26年5月30日

1 実施主体

(1) NPO法人等が申請する場合

| | | | | |
|------------------|--------|---------------------------|------|--------------|
| NPO法人等 (実施主体) | 種別及び名称 | 特定非営利活動法人 おぢや元気プロジェクト | | |
| | 住所 | 新潟県小千谷市本町1丁目4番16号 | | |
| NPO法人等 (連携先) | 種別及び名称 | 一般社団法人 いちばん星 南相馬プロジェクト | 担当者名 | 星 巖 |
| | 住所 | 福島県南相馬市原町区金沢字追合 116番地 | 電話番号 | 0244-26-9461 |

(2) 協議体が申請する場合

| | | | | |
|-----------------------|---------------------|--|--------------|--------------|
| 協議体の名称 | | | | |
| 代表構成員の団体名 及び代表者職氏名 | | | | |
| 構 成 団 体 | 都道府県・市区町 村名及び部課名 | | 事業における 役割 | |
| | 民間非営利組 織の種別・名称 | | | 事業における 役割 |
| | | | | |
| | | | | |
| | 住所 | | 電話番号 | |

2 事業概要

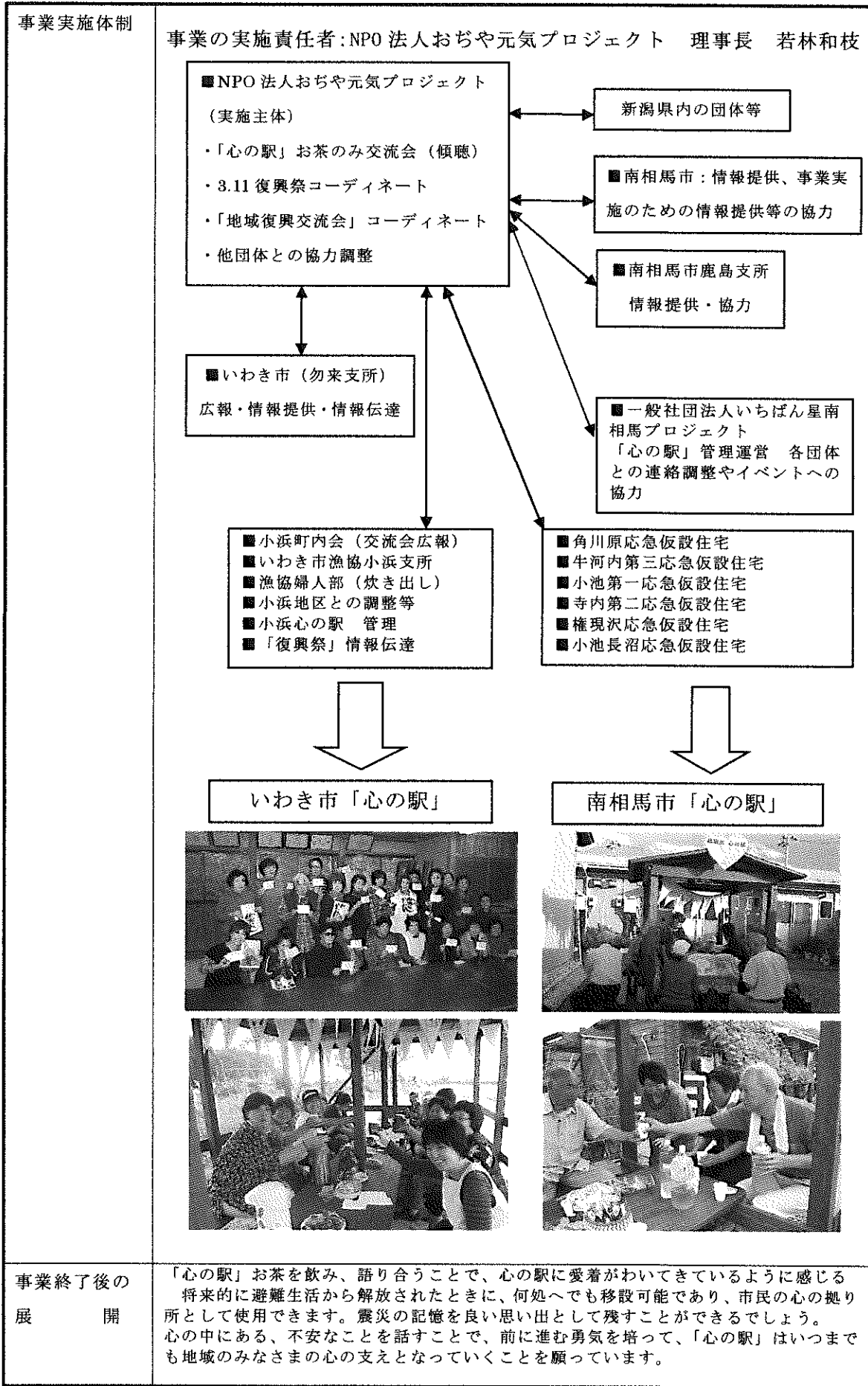
| | |
|---------|-----------------------------------|
| 事業名 | 「心の駅」孤立防止と心のケア事業 |
| 総事業費 | 1,442,000 円 (うち希望補助金額 1,153,000円) |
| 事業の実施期間 | 平成26年 6月 1日から平成27年3月31日まで |

注：補助対象期間は補助金の交付決定日からとなります。

3 事業計画

| | |
|------------------------|---|
| 地域における 課題と事業の 目的 | 東日本大震災から4年目を迎え、福島県内では未だに大勢の市民が避難生活を余儀なくされています。多くの人々がストレスを抱え気づかぬうちに孤立やうつ状態になり、最悪の場合自殺に至ることもあります。避難生活が長期化で我慢も |
|------------------------|---|

| | |
|-----------------|---|
| | <p>よう福島県内に7か所の「心の駅」を設置させていただいております。「心の駅」を利用し定期的に交流会を行い、利用者とメンテナンスの共同作業し、被災者の孤立防止や心のケアに役立ってます。</p> <p>新潟県小千谷市に福島県より被災者を招き、現地の課題、復興状態などの意見交換や情報発信の場として「地域復興交流会」を開催いたします。企業や団体・行政とも協働し、今後ますます必要となる人材育成・交流促進・ネットワークを拡大することにより、被災地域のみならず共に私たちNPOも成長することを目的として取り組みます。これからも福島県が生き活きと発展していくことを願い継続してまいります。</p> |
| <p>事業の目標</p> | <p>・南相馬市6ヶ所、いわき市に1か所の心の駅での平均交流時間を延ばし、傾聴をこれまでの1時間から増やし2時間以上します。</p> <p>小千谷市へ福島県より招き「地域復興交流会」開催し、地域交流や情報交換を行い、復興への未来を創造する。</p> |
| <p>事業内容</p> | <p>・「心の駅」交流会 企画・調整（7月） ・「心の駅」傾聴交流会（10月） ・「地域復興交流会」仮称（11月） ・「心の駅」メンテナンス（12月） ・「心の駅」復興祭（3月）</p> |
| <p>見込まれる成果</p> | <p>1. 本県の復興支援・被災者支援の観点</p> <p>直接的な効果・・・震災から4年目となり個人個人の復興に格差が表れ、取り残されていく不安の中で、傾聴は少しでも話すことで心が軽くなる効果があります。また、継続して理解し合える効果が期待できます。移り変わる地域の環境の変化を目の当たりにして、不自由な生活を余儀なくされている皆様の心に寄り添わせていただけることに感謝して、これからも皆様との交流に力をし塩出参りたいと思っております。</p> <p>今回初めて企画した、福島県から新潟県へお越しいただき開催を予定している「地域復興交流会」では、新潟県中越地震から10年の節目を迎え、同じ思いを共有し、これからも力を合わせて復興に向かう絆を深めることをが、少しでも力となって前に進んでいく勇気につながることを望んで企画するものです。</p> <p>波及効果の観点・・・私どもも支援に通わせていただき4年目を迎え、その間南相馬市や、いわき市で自ら復興のために組織を立ち上げ頑張っている人が増えてまいりました。私どものNPOも同じ思いで中越地震以降これまで活動してきました。この経験を少しでも皆様にお伝えし、今後の活動に役立てていただければと願っております。</p> <p>2. 取組実施主体の運営力強化の観点</p> <p>・福島県への支援団体が震災当初より減少しているように感じています。今年は、一か所の滞在時間を延ばし、ゆとりを持ったスケジュール体制を組み、「心のケア」傾聴に傾けたいと思っております。</p> <p>福島県内のNPOや民間団体との連携、そして県外の支援団体とも連携を図り、運営力強化に努めてまいります。</p> <p>復興交流会のコーディネートなど、福島県と新潟県内の支援組織等との協力をを行い、互いに組織としてのスキルアップにつなげたいと願っております。</p> |
| <p>事業スケジュール</p> | <p>・「心の駅」交流会 企画・調整（7月） ・「心の駅」傾聴交流会（10月） ・「地域復興交流会」仮称（11月） ・「心の駅」メンテナンス（12月） ・「心の駅」復興祭（3月）</p> |



| | |
|-------------------|---|
| <p>事業の先進性・普及性</p> | <p>このように、偶然の出会いを創出し、新しい出会いのためのツールは、これからの日本の社会の中でも、震災に限らず社会に取り残されそうになっている人々があります。誰とも会話をしない生活が長く続くと、人々の心は壊れていきます。そして一度壊れた心は治療が難しいのです。</p> <p>この壁のない小さな空間は、誰でも平等に受け入れます。そして善意を持った人々がそこで出会い、さみしい人との偶然の出会いを創出し続けることが期待できます</p> <p>福島県内はもとより、全国に普及してさり気ない会話をつくりだす場として伝えたいものです。</p> <p>既に、新潟県内や千葉県内茨城県内などに移動式心の駅は広がっております。</p> |
| <p>特記事項</p> | <p>「心の駅」は集会場や公民館などと違い、オープン性が高いので、利用者が固定しないため、様々な人々との交流を可能にする、気軽にコミュニケーションが図れるツールであり、「心のケア」「孤立防止」に有効です。</p> |

※用紙が足りない場合は、適宜追加してください。

※地域社会にとっての必要性（ニーズ）について確認できる資料（新聞の切り抜きやアンケート結果等）がある場合は、A4用紙1枚（両面可）に限り添付できます。

第3号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）
収 支 予 算 書

申請者名 NPO 法人 おちや元気プロジェクト

【収入の部】

（単位：千円）

| 区 分 | 平成 26 年度 予 算 額 | 明 細 |
|--------------------------|-------------------|---------------------|
| ふるさと・きずな維持・再生 支援事業補助金 | 1,153 | |
| 自己資金（負担者名） | 289 | NPO 法人おちや元気プロジェクト負担 |
| | 0 | |
| | 0 | |
| 事業収入 | 0 | |
| その他収入 | 0 | |
| | 0 | |
| | 0 | |
| 収入合計 | 1,442 | |

【支出の部】

（単位：千円）

| 区 分 | 平成 26 年度 予 算 額 | 明 細 |
|-------------|-------------------|--|
| 人件費（共済費を含む） | 432 | 心の駅交流会人件費 8,000 円×4 人×3 日×3 回=288,000 円 H27.3.11 小浜復興祭人件費 8,000 円×6 人×3 日=144,000 円 |
| 報償費 | 0 | |
| 旅費 | 234 | ◆心の駅交流事業 宿泊代：一泊 6,500 円×4 人×2 日×3 回=156,000 円 ◆H27.3.11 小浜復興祭 宿泊代：一泊 6,500 円×6 人×2 日=78,000 円 |
| 需用費 | 602 | |
| 消耗品費 | 374 | ・心の駅交流会費用 400 円×20 人×6 ヶ所×3 回=144,000 円（NPO 自己負担） ・H27.3.11 小浜復興祭 500 円×200 人=100,000 円（NPO 自己負担） ・プリンターインク・コピー用紙・文具・他=80,000 円 ・心の駅メンテナンス費用（ペンキ資材他）=50,000 円 |

| | | |
|----------|-------|---|
| 燃料費 | 48 | ガソリン代小千谷⇄福島県 12,000 円×4 回=48,000 円 |
| 印刷製本費 | 180 | 印刷費 ・カラーチラシ 45 円×2,000 部=90,000 円 (心の駅交流会用) ・カラーチラシ 45 円×2,000 部=90,000 円 (H27.3.11 復興祭) |
| 役務費 | 34 | |
| 通信運搬費 | 16 | 郵送料 82 円×200 枚=16,400 円 |
| 手数料 | 0 | |
| 保険料 | 18 | 一人 1,000 円×18 人 (延べ人数) 18,000 円 |
| 使用料及び賃借料 | 140 | レンタカー代 (ボックスバン) 8,000 円×12 日 (延べ日数) =96,000 円 高速代 小千谷⇄二本松 10,000 円×3 回=30,000 円 (心の駅交流会) 小千谷⇄いわき勿来⇄二本松⇄小千谷 14,000 円 (復興祭) |
| 委託料 | 0 | |
| | | |
| 支出合計 | 1,442 | |

注1 用紙の大きさは、A列4番とすること。欄が足りない場合は、適宜追加してください。

注2 「明細」欄には各区分の積算内訳として、名称、数量、単価、金額を必ず明確に記載すること。なお、「明細」については別紙として添付しても差し支えない。仕様については別途資料を添付すること。

注3 行政による他の補助事業も併せて利用する場合は、各補助金の用途を明確に区分し、この資金計画には、ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金を使用する部分の収支のみ記載すること。他の補助事業にかかる収支についてはこの資金計画には計上せず、別様式にて収支予算書を添付すること。また、他の補助事業の内容が分かる補助金交付要綱、要領等、用途の区分が分かる資料を添付すること。